

令和6年度 東京都立羽村高等学校 学校経営計画

令和6年4月1日

校長 神谷 画歩

第1 「目指す学校」

(1) スクールミッション

「自立」「貢献」「飛躍」を教育目標のなかに位置付け、保護者及び地域社会と連携し、地域に根付き、地域から愛され信頼される学校づくりを推進します。自尊感情を高めながら、知、徳、体とバランスの取れた教育を目指すとともに、社会の一員として国際社会で活躍する人材を育成します。

(2) スクールポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー

国際化する社会の一員として力を発揮する人間の育成を目指し、次の力を養成する

- ① 自らの言葉で表現する力
- ② コミュニケーション能力
- ③ 高い目標に挑む気力・知力・体力の育成
- ④ 規範意識を持ち、創意工夫する力の育成

イ カリキュラム・ポリシー

- ① 地域の自治体や大学、企業等と連携した教育を実践する
- ② 地域産業と連携し社会に貢献するための職業観を醸成させる探究活動を実践する
- ③ 国語、数学、英語では習熟度、家庭は少人数の授業を実施する
- ④ 多様な進路に対応できる講座を放課後に実施する
- ⑤ ICT機器や校内Wi-Fiを積極的に活用した教育活動を推進する

ウ アドミッション・ポリシー

- ① 自らの健康を保ち、身だしなみを整え、規則正しい生活を送ることができる生徒
- ② 3年間、自己実現に向けて着実に努力を継続できる生徒
- ③ 中学校の3年間、学校行事・学級活動・生徒会活動などの特別活動、部活動や地域活動に継続的・積極的に取り組んだ経験を有する生徒
- ④ 基礎学力、運動、規範意識の内、1つ以上得意とする分野がありその力を発揮する意欲のある生徒
- ⑤ 興味・関心の対象に真面目に取り組み、各種検定合格、段位取得などに向けて挑戦しようとする生徒

第2 「中期的目標と方策」について

生徒に身に付けさせたい資質・能力の向上を目指し、組織的・計画的にカリキュラム・マネジメントを推進する。また、生徒の実情に応じて発展型クラスと学び直しによる基礎学力定着型クラスの両面を充実させ、希望進路実現を目標に前年度の総括を踏まえて、項目を以下のように計画する。

項目	目標	方策
(1) 学習指導	学び直しによる基礎・基本の定着 上位者の学力を伸ばす指導の実践 指導と評価を一体化させた指導の推進	・授業や補講での学び直しの時間を確保 ・土曜及び長期休業中の講習等の実施 ・授業研究・協議会、研修会の推進
(2) 進路指導	進路決定率95% 進路行事の推進 外部人材活用による進路決定支援	・就業体験や上級学校等での授業体験 ・進路部・学年が連携して進路行事を実践 ・進路決定支援面談の計画的な実施
(3) 生活指導 安全指導 特別活動	挨拶、身だしなみ、遅刻指導等の徹底 ルール、マナーの遵守 部活動の活性化	・全教員で共通理解・共通歩調による組織的指導 ・授業規律やルール・マナー指導の徹底 ・部活動加入率、参加率、実績等の向上
(4) 体力向上 健康指導	統一体力テストの数値向上 健康的な生活習慣の定着	・事前（意識づけ）、事後（分析等）指導の活用 ・各種指導等を活用した健康教育の充実 ・関係委員会等の活用

(5) 人権教育 個に応じた指導	相互尊重精神の涵養及び自立支援 ユニバーサルデザインとインクルーシブ教育の推進	・SJS（生徒自立支援）委員会の定期的開催 ・相談体制の強化、居場所づくり ・教室の環境整備
(6) 地域連携 広報	地域との相互互恵関係の構築 図書館の改革推進、志望倍率の向上	・地域行事・ボランティア活動等への参加 ・地域人材の活用、PR活動の活性化
(7) 組織運営	校内組織の活性化 プロジェクトチームによる学校運営の改善	・担任・副担任の協力・協働を推進 ・プロジェクトチームの定期的開催により、本校の特色・魅力等の改革を推進
(8) 働き方改革	校務及び会議の効率化 教職員の負担軽減及びメンタルヘルス	・クリーンデスク、業務のデータ化を推進 ・育児・介護における学校全体で協力体制を構築

第3 「今年度の取組目標と方策」

(1) 学習指導

- ア 1、2学期の評価1のついた生徒に実施した補習及び課題学習の成果を評価し、中途退学の防止に努める。
- イ テスト前の放課後補習・土曜講習、長期休業中の補習、講習等を計画的に実施する
- ウ 生徒の実態を踏まえた授業内容、ユニバーサルデザイン、グループワークを推進する
- エ 教科主任会議の定期的開催により、観点「主体的に学びに向かう態度」を重視する授業改善を推進する
- オ 生徒の学力向上に資するICT機器によるオンライン学習を実施し、同時に生徒の主体性を育成する
- カ 講師を招いた校内研修を実施する
- キ スキルアップ推進校として、ビジネスマナー研修、デジタルスキル講座、グローバルスキル講座、文書作成講座を実施する

(2) 進路指導

- ア 企業交流会及びインターンシップ等を通じた職業観の醸成
- ・1学年を対象とした企業交流会、ビジネスマナー研修、2学年を対象としたインターンシップを実施し将来就業する自身の姿を想起させる機会を設ける
 - ・総合的な探究の時間では生徒の自己理解を深めさせ、社会とのつながりを意識させ、実社会としての企業を研究させる題材を研究開発し、実施する
- イ 学校外の学修（就業体験、上級学校での学修及び資格取得等）の推進
- ・病院、市役所、動物園、保育園等連携先での就業体験、大学や専門学校等連携先での学習、各種検定取得に対して参加を促進する
- ウ 上級学校訪問、チャレンジプログラム等の活用
- ・進路ガイダンス、大学・専門学校のオープンキャンパス、体験授業により生徒の進路意識を高める
- エ 学力基礎診断テスト等の分析
- ・事前・事後指導及び業者による模試の分析会の実施、クラッシーを活用して個別支援指導を行う
- オ 自立支援プログラム、NPO法人育て上げネット及びハローワーク等との連携によるキャリア教育、進路決定支援の充実
- ・社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てる「キャリア教育」の更なる充実を図り、ユース・アドバイザー（YA）、ユース・ソーシャルワーカー（YSW）及びNPO法人育て上げネット等と連携した個別指導を実施する。
 - ・進路選択に係る個別相談や就職希望者及び進学希望者の計画的な面接指導等でYA・YSW及びNPO法人育て上げネットのもつスキルや知識及びネットワークを活用する。
- カ 適切な進路情報の提供
- ・進路部及び学年で分担して多摩高進や大学等の説明会に参加し、推薦入試、AO入試、一般入試等、最新の情報を獲得・共有し生徒に提供する
 - ・卒業生講話会を実施し、卒業生の実体験を生徒の聞かせ、生徒の進路意識を高める
 - ・大学進学志望者に向けての大学入試共通テスト対策等の夏期講習を実施する
- キ 公務員試験対策講座や看護医療系学校受験対策講座の実施
- ・専門学校や大学及び病院等と連携し、1年次より計画的に進路実現のための具体的学習方法を提示するこ

とで、公務員や看護医療系の受験を目指す生徒を強力に支援する

(3) 生活指導・安全指導・特別活動

A 生活指導

ア 羽村高校生徒指導方針

生徒の将来を見通した生徒指導を実践する。挨拶、身だしなみ、遅刻、ルール・マナー等について、全教員で統一した指導を徹底する。

イ 羽村高校生徒スタンダードの徹底

- ・授業規律、時間を守る指導、授業毎の身だしなみ指導の徹底
- ・校内に不要物を持ち込ませない、授業妨害をさせない
- ・いじめ、SNSの誹謗中傷、不適切な投稿の禁止指導
- ・身だしなみ指導（化粧・装身具・頭髪の色・加工についての指導）

ウ 羽村高校生徒心得に基づく丁寧な指導

- ・社会の一員としての自覚を育む（あいさつ、礼儀、けじめ、法律や社会のルール、マナー等を守る）
- ・Face to Face のコミュニケーションの促進（携帯・スマホへの依存をなくす指導）
- ・学校生活を中心とした生活リズムを確立

B 安全指導

ア ヘルメット着用など通学時自転車通学指導を学期1回、3日間連続で実施する

イ 生活安全については、SNSの安全で差別偏見のない活用を授業等に取り入れ学ばせる

ウ 防災教育については、地震、火災、水害での災害防止に備える指導を行う

C 特別活動

ア 生徒中心の学校行事運営を行うために、生徒のリーダー育成に努め、リーダー研修会を実施する

イ 生徒に居場所を確保するため、魅力ある学校を作るための方策として、生徒を活用した図書館改革を推進する

ウ 全教職員は、校務分掌の一環として、担当する特別活動の顧問として生徒の指導支援にあたる

(4) 健康づくり、体力向上・健康指導

ア 全校体制で東京都統一体力テストを実施するとともに、生徒の体力と生活習慣の向上に取り組む

体育の授業においては、1単位時間当たりの運動量を確保するために、教科会で十分に検討し、共通理解を図った上で指導計画を立案する

イ 保健・体育の授業、部活動等において、健康づくり、体力の向上、放課後の活用、外部機関との連携、地域との連携等を推進する

ウ 健全な生活習慣の充実を図るため、各指導の機会を活用し知識・理解を深めさせ、意識向上を図る

(5) 人権教育・個に応じた指導、自立支援チームの有効活用

ア 自立支援担当教員、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、各学年及び分掌の担当教員、YA、YSWで構成される生徒自立支援（SJS）委員会の定例会議を時間割内に位置付け、生徒の課題や情報を共有し、各生徒の支援計画を立案、実施する

イ 1学年当初に「学習・心理テスト」を実施し、「全体的な傾向」、「学習面、生活面、心理面の傾向」、「集団として特に留意する必要がある傾向」、「個別に注視すべき生徒」等の情報について校内で共有し、具体的な生徒個別の学校生活の支援方法を検討する。

ウ 精神面で不安を抱える生徒の支援・指導のための研修会を開催する

エ SNS使用リテラシー、体罰の防止・根絶を年間2回、いじめ防止の取組を年間3回調査し、早期発見、早期防止を図る

(6) 募集活動、地域連携・広報

ア 学校見学会・説明会を年8回実施、西多摩地域の高校と企業が集う「都立学校夏まつり」を開催、生徒、教員、管理職による中学校訪問（近隣地区はもちろん立川、八王子市内の訪問を強化）

イ 全校生徒、教職員、PTAによる地域との連携で、ボランティア活動、羽村まつり等の行事に参加

ウ ホームページの更新を定期的に行い、学校の最新情報を広く提供する

(7) 組織運営(企画調整会議・委員会・プロジェクトチーム)の整備

- ア 会議時間は1時間に限定し、協議内容、進行方法等の改善を図る
- イ 副担任は授業のみでなく、担任団との連携を前提とした配置とする
- ウ 改革意欲のある教員によるプロジェクトチームを組織し「社会につながる力」の育成を図る

(8) 働き方改革

- ア 校務の一極集中を避けるため、校務は原則複数対応とし、相互不干渉の姿勢はとらない
- イ 羽村高校を良くする目標の許、話し合い、協力し合い、助け合い、校務に邁進する

数値目標

項目	目標値	過去の実績			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
学習指導	考查前勉強会・土曜講習	参加者 1100 名	1086	1035	908
	長期休業中の講習	発展:英数国理社各1講座3日間 基礎:英数国各1講座3日間	—	—	—
生活指導関係	遅刻(年間延べ回数)	12500回以内	15875	15794	13491
	特別指導の件数	33	38	128	89
	転退学者数	50名以下	59	94	51
進路の実現	進路決定率	95%以上	93.0	88.3	87.7
	就職者数	40名以上	49	31	31
	4年制大学	60名以上	54	47	47
	大学等の学修	15名以上	1	3	4
	インターンシップ参加者	180名以上	2	12	21
資格取得	英語検定	準2級,2級10名	6	9	6
	漢字検定	3級レベル 15名	2	1	1
	漢字検定	準2級、2級10名	5	0	2
募集対策	学校見学会	550組以上	489	520	562
	学校説明会	600組以上	457	630	466
	中学校・塾訪問	100校	—	85	139
応募倍率	中進学対策	1.0倍	0.77	0.66	0.53
	推薦倍率	1.5倍	1.91	1.18	1.02
	前期募集	1.0倍	0.87	0.67	0.68
	後期募集	0.5倍	0.30	0.49	0.80
ボランティア	地域連携	参加者100名	10	10	6

○体力テスト(総合点数)

性別	男子			女子		
	第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年
令和5年度都平	47.9	51.2	53.9	49.7	50.8	51.6
全国平均27年度	52.8	56.5	59.9	52.4	53.7	55.0
令和3年度	43.0	50.3	49.9	47.8	46.5	45.5
令和4年度	48.3	48.3	52.7	47.0	46.0	46.0
令和5年度	44.9	48.0	48.8	44.3	44.9	45.6